

じぞうくんのそぼくな疑問



うさぎ はあ～。
 じぞう どうしたんだい、うさぎさん。溜息なんかついて。
 うさぎ ああ、じぞうくん。実は、テレビの今日の占いが最下位だったんだよ。
 じぞう それは残念だったね。
 うさぎ もう今日は全部ダメな気がしてさ。朝からやる気が起きないんだよね。
 じぞう いつも元気なうさぎさんにしては珍しいね。
 うさぎ 元気になるような良い方法はないかい？
 じぞう 「当たるも八卦当たらぬも八卦」というぐらいだから、気にしない方がいいよ。
 うさぎ それってどういうこと？
 じぞう 八卦というのは中国の易学のことで、当たることもあるし、当たらないこともあるよという意味のことわざだよ。
 うさぎ へえ。面白いね。
 じぞう 気晴らしに占いの本でも読んでみたらどうだい？
 うさぎ おすすめの本を紹介するよ。
 うさぎ ありがとう！

うさぎさんが読んだ本はこちら

『占いの謎—いまも流行るそのわけ—』
 板橋作美/著 文芸春秋 (148イ)

『タロット基本のリーディング大全—自分で占う現在と未来、運命と変化の時—』
 アンソニー・ルイス/著 島津公美/訳
 ダイヤモンド社 (148ル)

12月の行事

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
新刊 お話し会	休館					
11	12	13	14	15	16	17
新刊 お話し会						
18	19	20	21	22	23	24
新刊 お話し会		お話し会			休館	
25	26	27	28	29	30	31
新刊 お話し会				休館	休館	休館

クリスマス^oニャル
おはなし会

<日曜> 新刊本を出します。
 新刊コーナーにご注目！
 毎週11時から、幼児から小学生低学年向けのお話し会があります。
 <火曜> 第3火曜日11時から、赤ちゃん向けお話し会があります。

編集後記

今年も最後の月になりました。
 本の福袋、クリスマスおはなし会…年が明けたらお子さん向けのちょっと楽しいイベントも予定しています。
 コロナの状況も心配ですが、皆さま健康で良いお年をお迎えください。

(M)

すがもらいぶらり

2022年12月5日 栄鴨図書館発行

SDGsワークショップ ご報告

11月13日、すがもがーでんで育てた綿の花から糸を作るワークショップを、実施しました。
 同時期に実施していた「すがもがーでんの綿花から考えるSDGs」との連携企画です。
 「糸」・「布」・「服」がどんな風になっていくのかのブックトークから始まり、実際に糸を作るところまで、体験いただきました。
 これからも、色々な企画を考えていきますので、楽しみにしてください。



がーでんの綿花

展示風景



綿をほくす



長い糸ができました



じぞうくん

いつも着ている洋服ができるまでの長い長いみちのりを少しだけ知ることができました！

イラスト作 S

食いしん坊司書の部屋



”元気になる、健康になる、きれいになる。そして人と人を結び、幸せになる。”
～『僕が韓国料理をつくる理由』より～

今月は、今年から巣鴨図書館で一緒に働いているフレッシュ司書に話を聞きました。

見た目の印象でスイーツの話が出てくると思いきや、以外にも「辛い物と麺類」が好きそうです。コロナ前に辛い物好きの友達と食べ歩きをしているうちに、おいしさに目覚め、辛いレベルが上がっていったというM司書のおすすめはやはり、韓国料理。

自宅近所に、おいしい「ユッケジャンスープとビビンバ」セットが食べられるお店もあるとのこと。冬本番を前に、あったまる韓国料理の魅力はますます高まりますが、「暑い夏に汗をかきながら辛いお料理を食べ締めはかき氷。」というコースもお薦めというあたり、なかなかの強者です。

韓国料理には詳しくない食いしん坊司書ですが、以前食べて忘れられなかった、韓国宮廷菓子「クルタレ」の話で盛り上がり、今回のインタビューは終了となりました。

(M.M.)

おすすめ本

- 『僕が韓国料理をつくる理由』 コウケンテツ／著
日本放送出版協会 (596.2 コ)
- 『よくわかる焼肉・韓国料理の歴史』 郭大聲／著
旭屋出版 (383 チ)
- 『韓国料理文化史』
李盛雨／著 平凡社 (383 イ)
- 『韓国の食文化』
佐々木道雄／著 明石書店 (383 サ)
- 『しらべよう！世界の料理 日本 韓国 中国
モンゴルー東アジアー』
青木ゆり子／監修 ポプラ社 (383)

じぞうさんぽ

＜トキワのレトロなニューフェイス＞

今回は、久々にトキワ荘通りを再訪しました。目的地は、トキワ荘通り昭和レトロ館（豊島区立昭和歴史記念館）。トキワ荘マンガミュージアムから目白通り方向に徒歩3分、椎名町駅と東長崎駅からは徒歩13分の、入場無料の博物館です。11月3日に開館したての新しい施設ですが、建物自体は昭和20年代に建てられた商業施設を改装したもので、2階外壁の『味楽百貨店』という文字看板が、まさに「レトロ」な趣です。

入館したら、まずは2階へ。板張りの廊下の両側に小さな展示室が並びます。展示室1は、郷土史家矢島勝昭氏（**雑司が谷いろはかるた**の作者）による昭和の子供たちの日常を描いた絵画の展示。根津山や廃業されたお風呂屋さんなど、懐かしい景色が楽しめます。ここ以外の展示室は畳敷きで、靴を脱いで上がります。展示室2は、昭和40年ごろの若いご夫婦の住まいという設定の六畳間。茶箆等や電気炊飯器、ブラウン管TVなど、当時の家具や家電が置かれています。展示室3は、壁いっぱい風車や奴唄が飾られ、部屋の奥には、折り紙、あやとりからリカちゃんハウス、野球盤まで、懐かしおもちゃが勢揃い。親子連れが楽しそうに遊んでいました。展示室4は、題して『**おもちゃの鉄道DE池袋駅**』。豊島区が誕生した昭和7年と現在の池袋駅の構造を、鉄道模型のおもちゃプラレールで再現しています。この展示は、発売元のトミー（現タカラトミー）が、大正13年に北豊島郡西巣鴨（現在の豊島区）で富山玩具製作所として創設されたというご縁で実現したそう。小さな貨物駅のような昔の池袋駅と、びっしり並べられた線路の上をJRや私鉄の車両が走行し、その下には2層になった地下鉄も再現された現在の池袋駅を見比べられる、鉄分多めな展示でした。

廊下の突き当りにある多目的室2では、特別企画展『**タイムトリップ 豊島区の90年**』を開催中。壁面には昭和～平成に撮影された区内の写真と、ほぼ同じ場所の現在の写真が並べられ、時代の変化を感じられます。部屋の中央には、2008年まで池袋にあった『人生横丁』と、南こうせつらの歌『神田川』の世界を表現したジオラマを展示しています。1階の多目的室1の特別企画展は、「学習マンガとして描かれたわけではないが、学習の役に立つマンガ」として選定された作品を紹介する、『**これも学習マンガだ！展**』。原画も展示されており、第1期（12/18まで）特集作品は『ゴルゴ13』。意外な題材ですが、国際紛争など、実在の事件に主人公が裏で関わる物語は、確かに現代社会を知る参考になりそうです。ぜひ、**トキワ荘マンガミュージアム**（現在、『**藤子不二雄Aのまんが道展**』絶賛開催中！）とあわせて行ってみて下さい。

(A)



戦後マーケット「味楽百貨店」を改装



公園隣のブックカフェ「ふるいち」。トキワ荘関連の書籍やグッズが揃っています



夕方になると、トキワ荘の窓に明かりが。誰かが原稿を描いていそう



夕暮れのトキワ荘公園。この奥にトキワ荘マンガミュージアムがあります

ともぼん

お供本

旅のお供に
ふさわしい図書館
蔵書をご紹介します

- 『画集二十世紀の情景ー池袋・雑司が谷』
矢島勝昭／著 (KO 726)
 - 『学べるマンガ100冊』
佐渡島 庸平 里中 満智子／ほか著
文藝春秋 (中央・駒込・池袋所蔵)
 - 『100周年の未来へーToshima City 90th anniversary 豊島区制施行90周年記念誌ー』
(KO 318)
- ※現在、1階特集棚にあります。
貸出不可のため、館内でご覧下さい